

新図書館西敷地利活用事業に関する意見交換会概要（株）高知市中心街再開発協議会）
《速報版》

日 時：令和元年8月29日（木） 17時30分～18時45分

場 所：オーテピア高知図書館 4階研修室

出席者：市6名（株）高知市中心街再開発協議会13名

（高知市側）岡崎市長，吉岡副市長，中澤副市長，森田商工観光部長
楠本商工観光部副部長，山脇商工振興課長

- 1 挨拶（岡崎高知市長）
（廣末（株）高知市中心街再開発協議会代表取締役）
- 2 事業概要等説明（山脇商工振興課長）
- 3 意見交換
- 4 閉会

<意見交換会でいただいた意見>

- 西敷地は教育・観光・商業それが結接する位置にあり，他の施設と連動するようなものを造れば，中心市街地が相乗効果によってもっと浮上していくのではないかと。
- オーテピアが成功したように，ある程度税金を投入しても十分市民県民が納得する施設ができると思う。民間に貸し付けるだけでは，利益のみを追求した施設となるおそれもあり，予算は厳しいかもしれないが，中心市街地の今後の環境の変化も考えて西敷地をどう利用したらいいかということを検討する組織を，商店街関係者も含め，市役所内の商工観光や都市整備，福祉などの各部局と立ち上げ，ゆっくりで良いので検討してはどうか。

<高知市からの回答>

- 高知市としては，第二期高知市中心市街地活性化基本計画の計画期間である平成30年度から令和4年度までの間に事業を進めていく考え方である。この中で，市も民間事業者にも丸投げするのではなく，市の一定の考え方と民間事業者の事業提案内容とを組み合わせることも検討していく必要があるが，市議会や市民の皆様方のいろいろな考え方があるので，組み合わせることができるのかできないのかを含めて，議会も踏まえてしっかりと議論が必要だと思っている。
- 高知市は人口減少に陥っているが県内周辺の人口減少はもっと凄まじいことになって

おり、高知市のことだけを考えてもいけない立場にあり、そういう中で観光が一つの目玉だろうし、前回の公募型プロポーザルで提案のあった移住というのも大事である。

- 学生や若者に意見をきくことも大事だと思う。
- もう少し高知市中心市街地活性化基本計画や本事業の考え方をオープンにしてほしい。

<高知市からの回答>

○ 前回の公募型プロポーザルでは、民間事業者の提案内容を採用していこうというプロセスで、プロポーザル審査委員会で審査をして決定したが、選定過程を非公開としたことで透明性を欠いていたというご指摘を受け、その点については反省点だと考えている。これまでの計画のプロセスを我々も市民の皆様方に理解をしてもらうための努力は十分ではなかったということもあり、プロセスをオープンにして市議会の皆様方と共にオープンに議論できる場というものが前回の場合ちょっと不足していたという反省点もあり、今回いただいた意見を次のステップに織り込んでいく必要があるのではないかというふうに考えている。

- 私が所属している商店街の皆さんから聞いた意見というのをお伝えしたいと思う。

□以下、商店街の皆様からの意見□

前回の提案事業に賛成だった意見

- ・提案がなくなって残念。街の居住人口が増えるのは賛成。学生が街に増えるのも賛成。
- ・事業内容が商店街の店舗と競合しないから良かった。
- ・上層に居住者、下層にテナントで良かった。テナントとしてユニクロとか無印とかH&Mなど集客力のある店舗名を出しておけば反対意見は少なかった。
- ・これ以上の提案はもう出てこないだろう。次は誰もよう手を挙げん。

前回の提案事業に反対だった意見

- ・ハコモノはイヤだ。高層建築は大反対。景観が損なわれる。あの場所にまた高い建物ができるのは相応しくない。
- ・民間の土地ならまだしもわざわざ市有地にマンションは何故？小学校を追い出しておいで50年間民間に委ねますは無責任。時間をかけてでもしっかりと最後まで取り組むべき。
- ・マンションは街のど真ん中じゃなくて少しぐらい離れていた方が良いのでは。
- ・高度利用と民間に貸すという大前提があるから今回の混乱を生んだ。市がやれないなら県に貸すとか。Park PFIを導入するとか。ほかにもやり方はあったのに進め方が強引だった。
- ・話の進め方がマズかった。業者とコソコソやりゆうみたいな印象になったのはいかん。

これで高知大が街に来んなったら誰が責任とるのか。

今後はこのような施設を整備してほしい。このような進め方をして欲しい。という意見。

- ・災害時に活用できる場所にしてほしい。経済もいいが高知の街に足りないのは防災・安心安全の街づくり。津波避難ビルとかあるけど日曜昼の県外から沢山人が来ている状態で地震が来たら全員収容できないと思う。大きな防災拠点が欲しい。
- ・多目的に使えるイベントスペース。固定の施設じゃない方がいいのでは。時代の変化によって様々に対応できる場所。焦って今決める必要はない。
- ・ただの公園はいらない。もし公園になるのなら雨の日や真夏でもイベントができるよう屋根を設置してほしい。中央公園は使い勝手が悪すぎる。高知の気候に合っていない。
- ・小さい子ども連れで行きたくなる施設が帯屋町にはほとんどない。西敷地にはそういったエリアになって欲しい。広場にせよテナントビルにせよそういった目線を一番大事にしてほしい。子連れはみんなイオンかアクシスかフジか蔦屋書店に行く。もしくは県外。
- ・ファミリー層が行ける飲食店が少ない。大丸のレストラン街も無いし、ひろめ市場はともじゃないがファミリーでは行けない。
- ・リブロードみたいな若者や女性が行きたくなるファッションや雑貨、飲食の商業施設がほしい。3コインズを誘致しないのが不思議。今の高知の若者は3コインズの為に県外へ行っている。四国で高知だけ無い。
- ・街にホームセンターや電気屋がないのは厳しい。どうせならそういった店舗を誘致してほしい。住民ばかり増えても経済は回らない。
- ・牧野植物園のサテライトパークにしてほしい。高知の自然豊かな緑がメインの憩いの空間。中央公園や帯屋町公園みたいな人工でもなく、藤並公園や丸ノ内緑地みたいな離れた高知城の文化財的な公園でもなく、帯屋町の新たなシンボルになるみんなの公園。
- ・観光客向けの事業だけじゃ平日は閑散とする。普段街や役所で働く人も気軽に立ち寄れる施設を希望する。ジム、プール、ボルダリングとか健康づくりに繋がるような施設はどうか。
- ・高知の街は飲食に特化した方がいいかもしれない。もっと高知の食を楽しめる施設を整備する。強いところを伸ばす。
- ・お客さんから宿泊施設が少ないと言われる。特に低価格を求める外国人や学生が利用するゲストハウスのようなもの。そういった事業をやりたい起業家向けの施設にしては。
- ・コンサートホールが少ない。中途半端なサイズばかり。あの場所にできませんか？音楽や舞台を楽しめる施設が街に欲しいです。美術館も郊外ですし、映画館もなくなりました。
- ・街には大きな病院がほぼないので、総合病院を誘致してほしい。小さなクリニックばかり。特に小児科と高齢者を対象とした病院が必要。居住者や働く人の数の割にベッドの数が圧倒的に少ない印象。

- ・西敷地を整備するだけではそう簡単に帯屋町は活性化しない。例えばセットで中央公園地下駐車場無料化を実施すれば効果も出てくる。例えば高知大学誘致なら帯屋町の空き店舗だってキャンパスになる。西敷地の議論のスタートが中活ならば、中活らしくもっと多面的にまちづくりを語る姿勢が欲しい。西敷地だけ論じてもなかなか前へ進まない。
- ・問題になっている屋台を許可制にして、許可する場所を西敷地にすればいい。ひろめ市場と合わせて酒文化でいいんじゃないか。高知なんてそんなもん。

- 時間をかけて皆さんの意見を聞きながら、「市として西敷地をこういうものに活用していこうと、そのために民間の力が必要である」ということを議員の皆さんともお話をしながら決めることで、市民の皆さんが戸惑わないと思う。

<高知市からの回答>

- 利活用の柱としては、平成28年11月に実施した市民3,000人を対象としたアンケートの結果である、西敷地にふさわしいとされた上位4機能「観光客のリピーターを増やすことができる機能」「日曜日やよさこい祭りを充実、発展させるための機能」「家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能」「広場機能」に集約をされるのではないかと。これにいろいろな枝葉をつけることは可能であり、意見交換を通じ市民の方のお話を聞きながら議員の皆様との議論もいるが、どういう形で集約していくのか、これからの大きなポイントとなる。

- 西敷地は文化や教育などがちょうど混ざり合う立地になっており、そこに携わる方々が上手に交流しながら、地域にいろいろなものを落とし込めていけると思う。

<高知市からの回答>

- まちの歴史、これに高知にはお酒の文化などの風土があり、これを踏まえることがまちづくりには大事である。この高知の城下町は、お城から九反田周辺までで構成されており、ここがまちの背骨である。この背骨が崩れたら、まちの印象、魅力がなくなる。西敷地は複合的に魅力的なものが集まっている。それをこれから上手く使っていくのは次の世代の方々なので、学生さんを含む若い方々と次の意見交換の場も現在調整をしている。

- 市民アンケートの結果である上位4機能の具体的な数字は。

<高知市からの回答>

- 『広場機能』とお答えいただいた方が62.9%、『家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能』とお答えいただいた方が56.8%、『日曜日やよさこい祭りを充実、発展させるための機能』とお答えいただいた方が55.1%、『観光客のリピーターを増やすことができる機能』とお答えいただいた方が58.4%となっている。

- 県外のお客さんだけがリピートするだけでなく、地域の住民がリピートして生活できる

ようなものを考えていくことができればいいかなと思う。

<高知市からの回答>

○ 高知市は中心市街地が空洞化してきたので、中心市街地活性化の目的のひとつである都市居住というものを推進してきた。近年、中心部の土地の価格が下がってきたため、マンションが相当数建設されており、都市居住という意味ではかなり街中の居住人口は戻ってきたのではないかと思われる。生活する中でその街にどのような機能があれば生活力に繋がっていくかということは考えていきたい。商店街の方の意見として、避難場所の話があったが、オーテピアを一時避難場所に指定している。オーテピアは免震構造で、一定の水も備蓄しており将来的には食糧も配置していく。

● 西敷地は人が集まるような施設、学生やお年寄りや若い人も集まるような多機能な交流施設、高い建物の高度利用ではなく、高度な機能を持った施設にしてほしい。

● 日曜市は生活市という前提があり、地元の人が使って買って初めて日曜市が成り立ち、それを見て観光客が来る。ひろめ市場も同じです。キャパがいっぱいなので新しいひろめ市場を作ってほしいという話もあるが、平日の暇なときだれがどうやって利用するのか。そこまで考えて要望しているのか。人が使って残すという気があるような交流する施設を市自らも考えてもらいたい。

(閉会)